

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月10日

上場会社名 株式会社 トラスト 上場取引所 東
 コード番号 3347 URL <https://www.trust-ltd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 賢司
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 野木森 直樹 TEL 052-219-9058
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	8,958	52.0	668	188.1	886	321.7	603	561.2
2022年3月期第1四半期	5,893	59.2	232	—	210	—	91	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 897百万円 (490.9%) 2022年3月期第1四半期 151百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	23.34	—
2022年3月期第1四半期	3.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	
2023年3月期第1四半期	33,934	12,326	23.9	313.81
2022年3月期	33,612	11,629	22.7	294.96

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 8,120百万円 2022年3月期 7,632百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	2.00	—	4.00	6.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	2.00	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	12,800	4.3	800	1.7	750	0.3	310	27.5	11.98
通期	28,800	4.3	1,900	2.3	1,800	△6.0	750	△9.3	28.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P. 8「四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	28,150,000株	2022年3月期	28,150,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	2,273,100株	2022年3月期	2,273,100株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	25,876,900株	2022年3月期1Q	25,876,900株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念はあるものの、経済活動への制約は解消されつつあり、企業活動や個人消費について持ち直しの動きが広がりました。

国際社会においても、企業や個人による経済活動に回復の動きがみられますが、地政学的リスクによる原油価格の高騰や為替相場の動向など、先行き不透明な状況が続いています。

このような状況のなか、当社グループは、中核事業であり海外市場をターゲットとしている中古車輸出事業、自動車の所有から利用の流れの中で安定的な成長を続けるレンタカー事業、さらに南アフリカ共和国において海外自動車ディーラー事業の3つの事業を行っており、安定的で収益力のある事業体の構築を目指しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高8,958百万円(前年同期比52.0%増)、営業利益668百万円(前年同期比188.1%増)、経常利益886百万円(前年同期比321.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益603百万円(前年同期比561.2%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 中古車輸出事業

中古車輸出業界においては、アラブ首長国連邦、ケニア、タンザニアといった主要輸出先の輸出量は、前年同期と比べ増加しておりますが、経済制裁の影響を受けているロシア向けの物量は減少しております。

為替相場の急激な円安傾向が続いていることから輸出事業は活性化しているものの、国内オークション相場は、半導体不足による新車減産の影響を受けて高騰しており、また国際的な原油高によって海上運賃が上昇傾向にあることから、当第1四半期連結累計期間における業界全体の輸出台数は32.5万台(前年同期比3.0%減)となりました。

このような状況のなか、B to B販売の主要な輸出先であるバングラデシュを含むその他の地域の受注を頂いたお客様に出来る限り早くお届けできるよう努め、当社グループの輸出台数は1,475台(前年同期比8.9%増)となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高3,260百万円(前年同期比82.7%増)、営業利益104百万円(前年同期比286.6%増)となりました。

② レンタカー事業

レンタカー業界においても、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和され、企業および個人消費が持ち直したことから需要は回復しております。しかしながら、限られた需要に対して各社の競争はさらに激しさを増しております。

このような状況のなか、当社グループは、当期においてF C店の札幌丘珠空港店(北海道)を新規出店、イオンタウン四日市泊店(三重県)を移転オープンし、直営店及びF C店の総店舗数は183店、総保有台数は21,425台(前年同期比12.3%増)(※うち、Jネットブランドのみの店舗数は125店、保有台数は15,026台(前年同期比13.0%増)となり、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高3,656百万円(前年同期比24.1%増)、営業利益505百万円(前年同期比190.9%増)となりました。

③ 海外自動車ディーラー事業

南アフリカ共和国においては、4月の大統領によるロックダウン解除宣言以降、コロナ前の日常を取り戻しつつあります。失業率は30%を超える状況が続いているものの、個人消費は回復し、2022年1-6月期の新車販売台数は25.3万台(前年同期比10.9%増)となりました。

このような状況のなか、当社グループは、南アフリカ共和国でスズキディーラー4店舗を運営しております。

新車販売台数は合計775台(前年同期比58.8%増)、中古車販売台数は合計312台(前年同期比14.7%増)となり、前年同期と比べて販売台数は大幅に増加し、業績は好調を維持しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高2,074百万円(前年同期比69.5%増)、営業利益61百万円(前年同期比126.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.3%増加し、16,613百万円となりました。これは売掛金が249百万円、リース債権及びリース投資資産が253百万円増加し、商品及び製品が294百万円が減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.6%増加し、17,320百万円となりました。これは機械装置及び運搬具が599百万円増加し、リース資産が434百万円減少したことなどによります。

その結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.0%増加し、33,934百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.1%増加し、17,409百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が233百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて8.4%減少し、4,198百万円となりました。これはリース債務が390百万円減少したことなどによります。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて6.0%増加し、12,326百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中古車輸出事業につきましては、WEBサイトを通じたBtoC販売の拡充、継続的なBtoB販売先の新規開拓、部品販売の強化等により売上の拡大に努めてまいります。レンタカー事業につきましては、さらに既存出店エリア及び空白エリアへの新規出店や移転を推進し、より利便性の高い店舗網を構築してまいります。海外自動車ディーラー事業につきましては、既存店舗に加えて新規出店を検討することで売上拡大及び利益向上を図ってまいります。

なお、2022年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。今後何らかの変化がある場合は適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,418,511	1,130,506
受取手形	41,815	60,774
売掛金	3,779,104	4,028,460
リース債権及びリース投資資産	7,415,826	7,669,759
商品及び製品	3,217,384	2,923,356
仕掛品	954	458
原材料及び貯蔵品	32,213	38,556
その他	859,372	957,833
貸倒引当金	△195,739	△196,145
流動資産合計	16,569,445	16,613,560
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	3,561,138	4,160,503
リース資産（純額）	6,981,632	6,547,514
土地	3,500,983	3,652,402
その他（純額）	1,919,927	1,937,702
有形固定資産合計	15,963,682	16,298,122
無形固定資産		
のれん	52,630	51,025
その他	72,881	76,482
無形固定資産合計	125,512	127,507
投資その他の資産		
その他	1,036,698	982,450
貸倒引当金	△83,002	△87,261
投資その他の資産合計	953,696	895,189
固定資産合計	17,042,890	17,320,819
資産合計	33,612,335	33,934,380
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	573,409	806,414
短期借入金	4,750,000	4,700,000
1年内返済予定の長期借入金	2,519	—
リース債務	9,677,557	9,599,713
未払法人税等	588,314	178,675
契約負債	487,708	578,175
賞与引当金	139,341	72,391
その他	1,179,288	1,474,000
流動負債合計	17,398,139	17,409,370
固定負債		
リース債務	4,408,633	4,017,786
役員退職慰労引当金	11,685	11,932
資産除去債務	75,922	76,018
その他	88,111	92,365
固定負債合計	4,584,352	4,198,103
負債合計	21,982,492	21,607,473

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,349,000	1,349,000
資本剰余金	1,174,800	1,174,800
利益剰余金	5,709,255	6,209,597
自己株式	△618,209	△618,209
株主資本合計	7,614,846	8,115,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,500	3,738
為替換算調整勘定	2,421	1,491
その他の包括利益累計額合計	17,922	5,230
非支配株主持分	3,997,074	4,206,488
純資産合計	11,629,843	12,326,906
負債純資産合計	33,612,335	33,934,380

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	5,893,334	8,958,158
売上原価	4,500,665	6,962,055
売上総利益	1,392,669	1,996,102
販売費及び一般管理費	1,160,468	1,327,130
営業利益	232,200	668,972
営業外収益		
受取利息	2,296	4,363
受取配当金	1,292	1,275
為替差益	2,928	239,495
その他	3,221	6,242
営業外収益合計	9,739	251,376
営業外費用		
支払利息	28,778	33,341
その他	2,981	702
営業外費用合計	31,759	34,043
経常利益	210,179	886,305
特別利益		
投資有価証券売却益	—	299,119
特別利益合計	—	299,119
特別損失		
固定資産除却損	65	9
特別損失合計	65	9
税金等調整前四半期純利益	210,114	1,185,414
法人税、住民税及び事業税	91,468	252,753
法人税等調整額	△19,202	22,682
法人税等合計	72,266	275,435
四半期純利益	137,848	909,979
非支配株主に帰属する四半期純利益	46,525	306,130
親会社株主に帰属する四半期純利益	91,322	603,849

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	137,848	909,979
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,999	△11,824
為替換算調整勘定	8,990	△930
その他の包括利益合計	13,990	△12,755
四半期包括利益	151,838	897,224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105,434	591,156
非支配株主に係る四半期包括利益	46,404	306,067

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,773,114	2,896,611	1,223,608	5,893,334	—	5,893,334
セグメント間の 内部売上高又は振替高	11,152	50,430	—	61,582	△61,582	—
計	1,784,267	2,947,041	1,223,608	5,954,917	△61,582	5,893,334
セグメント利益	27,074	173,622	27,095	227,792	4,408	232,200

(注) 1 セグメント利益の調整額4,408千円には、のれん償却額△1,549千円、棚卸資産の調整額5,957千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

「会計方針の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同上に変更しております。

この結果、従来の会計処理と比較して、当第1四半期連結累計期間の「レンタカー事業」の売上高が217,526千円減少しておりますが、セグメント利益に与える影響はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,249,027	3,634,567	2,074,563	8,958,158	—	8,958,158
セグメント間の 内部売上高又は振替高	11,247	22,275	—	33,522	△33,522	—
計	3,260,274	3,656,842	2,074,563	8,991,680	△33,522	8,958,158
セグメント利益	104,665	505,031	61,285	670,981	△2,009	668,972

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,009千円には、のれん償却額△1,563千円、棚卸資産の調整額△445千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。